

# 社会福祉法人甲南会 甲南のぞみ保育園

日時：2021年12月7日（月）9:00-16:30

場所：滋賀県甲賀市甲南町稗谷 2838

社会福祉法人甲南会 甲南のぞみ保育園は、住宅街の中の高台にあります。今回は、保育園の園庭で研修をおこないました。前日の強風で木の葉っぱが散ってしまい自然物が少なくなってしまったことに加え、朝から雨が降り続いていました。そのような状況でもできる自然体験型保育が実践され、大きな学びとなりました。

公開保育、座学と公開保育の振り返り、参加者の自然体験型保育の体験をおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

## 〇〇色のものをタッチしよう！

しまっちが言った色をタッチしてくる遊び。「緑！」という声に、多くの子どもたちはモミの木へ。そこで一人ずつ葉を取って匂いを嗅ぎました。「草が腐ると土になる」としまっちから教えてもらい、子どもたちは葉っぱを土の上に返していました。

次は、「赤色の自然のもの！」。自然物を触った後に人工物（遊具など）を触って、温度の違いを感じます。しまっちから「木や花が温かいのは、みんなと同じように生きているから！」と、植物や生き物に命があることを教えてもらいました。



「次は…青色！」  
青色のものに向かって一直線！一斉に走り出します。

モミの葉っぱの匂いを嗅いでみよう。どんな匂いがする？  
「くさ〜い！」という声も…。



鉄棒にたまっていた雨を集めています。たくさん集めるのはなかなか大変…。

どれくらい集められたかな？みんな大注目です。  
「こっちのチームは量が多いけど、あっちのチームの水の方がきれいだね」



## 雨を集めよう！

ビニールシートの四隅にある穴に傘の先を指し、シートの上に雨粒を集めます。子どもたちは2グループに分かれて、シートからはみ出さないように、みんなできつつきながら園庭を散策。「どんなところに雨がいっぱいあるかな？」とみんなで相談し、鉄棒や木についた雫を取っていました。

最後に、グループごと集めた雨を水槽へ入れました。雨の量だけでなく、雨水の濁り具合にも注目して観察しました。

## 講義

午後からは講義がありました。自然の中で実験し、気付いたことが学びになること、滋賀県が保育の中で大切にしているポイントなどについてお話があり、その後午前中の保育の様子について感想を共有しました。また、今回の内容を踏まえた今後の保育についてグループに分かれて話し合い、それぞれの意見を発表しました。



### 今日の保育内容について感想

- 普段、雨の日に保育者が遊具を拭いているのを見てからか、子どもたちが遊具を触って雨を集めていた
- 雨の日に園庭で遊ぶ機会が無かったので新鮮だった
- 自然が少ない状況だったが、子どもたちの気づきが多い遊びばかりだった
- 最初は子どもたちの意思があまり無かったが、だんだん子どもからの行動が出てきた
- 水たまりの中に石があり、子どもたちと感動していた
- もみの木の小さな葉から強い匂いがかけて驚いた

### 雨（雪）の日の保育でできそうなこと

- 泥遊び、砂場の濡れた土を感じる
- ブルーシート散歩、家づくり
- 雨ならではの虫探し、葉を裏にしてみる
- 雨の匂いを感じる

### 葉っぱのお金ジャンケン！

モミジの葉っぱを5枚持ち、それをお金に見立て、ジャンケンして勝ったら賞金として葉っぱを一枚相手からもらえるゲームです。負け続けて時間内に手持ちが無くなってしまったら「しまっち銀行」で葉っぱのお金を借りることができます。終了の合図の後、手持ちの葉っぱの枚数を数えて発表し、一番多く葉っぱのお金を勝ち取った人が優勝です。



「ジャンケン、ポイ！」  
勝ち続けると手持ちの葉っぱのお金が増え、お金持ちになった気分を味わえます。

みんなが持っているお金の葉っぱを優勝者にプレゼントして、みんなでお祝い！

